

流山 九条ニュース

「九条の会・流山」事務局

山田 7144-3993 石林 7154-7511

三原 7152-6559

2014.2.1 NO.95

メール：info@nagareyama9.org



「九条の会・流山」HP：<http://www.nagareyama9.org/>

辺野古移転 NO!

仲井真知事裏切りの中 稲嶺名護市長が圧勝

沖縄の仲井真知事は県民の期待を裏切り辺野古の埋め立てを暮れに承認しました。名護市長選を見越しての圧力と伝えられましたが、自民党の石破幹事長は「基地の場所は政府が決める」とのべ、札束で頬を叩くような根拠のない数字を並べましたが、名護市民は屈せず、移転反対の稲嶺市長を再選しました。前回の1588票差を4155票差に広げての勝利です。

稲嶺氏は「(辺野古)埋め立て前提の手続き、協議は全て断る。ぬちかじり(命の限り)頑張る」と述べています。

沖縄自民党の中にも怒り

自民党沖縄県連顧問、元沖縄県議会議員仲里利信氏は昨年末に自民党を離党し、稲嶺名護市長の再選のために奮闘しました。

これまで後援会長を務めてきた西銘恒三郎衆院議員が「県内移転」にかわってしまい、沖縄にとって「屈辱の日」である4.28を政府が「主権回復の日」として開いた式典に進んで参加したことへの抗議です。

仲里氏は「仲井真知事の辺野古埋め立て承認はむしろ『誘致』だ。」「(承認の結果)ウチナンチュウ(沖縄県民)は金を見せればすぐ言うことを聞く。ゆすりの名人だ。などと罵声を浴びせられている。我々にもプライドがありませんよ。」と心のうちを語っています。

◆無人偵察機三沢に配備



政府が中期防で自衛隊の装備に加えようとしている無人偵察機グローバルホークを在日米軍は三沢基地に配備しました。沖縄の負担軽減どころか、本土全体が沖縄並にされる危険。名護の市長選で政府が言った、「地位協定の見直

し」は敗北とともにお蔵入りにするつもりなのでしょうか。

◆インドと軍事協力

積極的平和主義始動

日本政府は中国への有力な対抗勢力としてインドに注目して接触。昨年は政治利用という批判の中、天皇、皇后インド訪問を実施。交通網整備などの経済協力。成長著しいインド経済の電力不足に対して原発の輸出も図っています。

そのなかで安倍首相はインドを訪問。26日、首都ニューデリーで開かれた「共和国記念日」の軍事パレードに出席しました。日本からは安倍首相の訪問に先立ち、小野寺防衛相が今月初めにインドを訪れ、安全保障分野での協力強化を話合っています。インド海軍と日本の海上自衛隊は昨年6月、日本海域で初の合同演習を実施しています。アジアの中での日本の役割が「積極的平和主義」で間違うと大変なことになりかねません。インドと軍事協力する、これがなぜ「自衛」隊の役割なのでしょうか。

安倍カラー濃厚に

「従軍慰安婦どこの国にも」と NHK新会長の不見識

安倍総理はアベノミクスのために日銀総裁をすげ替え、憲法の解釈を変えて実質的な改憲を諮るため内閣法制局長官をすげ替えました。こんどはNHKの会長と経営委員を入れ替えてマスコミ統制を測ろうとしています。

新会長の荊井勝人氏は三井物産から日本ユニシス社長という財界出身。就任の記者会見で「従軍慰安婦は戦争をしているどこの国にもあった。」と発言。内外からひんしゆくを買っています。軍や国が関わって、女性を強制的に連行をして売春をさせたというのは現代史の中でナチスドイツと旧日本軍だけといわれる。中身もさることながら、NHK会長がいまそれを敢えて口にする事の内外への意味を理解しないことも不見識。

「政府が右と言うことを左と言うわけにいかない」と露骨な政府追従の姿勢とともに公共放送の会長として不適任であり、選任した政府の責任が問われます。

教科書検定で領土の記述強制

教科書には不当な検定制度と指導要領という枠が設けられており、自由な発行が規制されています。さらにその解説書なる文科省の著作物が発行されて、その通りにしないと教科書発行を許さないのです。その解説書に竹島・尖閣列島をわが国固有の領土だと政府見解を載せることを強いる記述を加えることを文科省は決めました。指導要領改定の年でもないのに解説だけを変えるというのは異例です。「不当な支配」を排除していた教育基本法改悪の結果がいよいよ形になってきています。教育を政治の道具、政治の下僕にしてはなりません

菅谷 昭氏の講演を聴いて

「放射線から子どもを守るために、私たちが出来ることを一緒に考えませんか？」

会場の最前列、菅谷さんの立ち位置近くで、表情も拝見しながらお話を聞くことに恵まれた。

最初から最後まで、ずっと引き込まれて耳を傾けた。傾きながら聞いている自分がいた。

脚色のない内容、誠実さ、そして粘り強いお人柄が伝わってくる。

「福島の子どもたちを避難させたい(集団移住)。まず松本市が率先して受け入れ、これを“松本モデル”として全国に広げたい。誰かがやらなければ…」と話された。その具体的な構想も、本来は国が先立ってやらなくてはならない事なのにと、ため息が出そうになる。ともかく菅谷さんや、心ある方々、NPO 法人などが手を携えて、動き出して下さっているようだ。近いうちに実現することだろう。

福島の子どもたちへの光がひとつ見えて、ほっとし、嬉しい気持ちになった。今の日本に、菅谷さんがいて下さって本当に良かった。

良い刺激を受けた。講演会後も感動が持続している。

2014. 1. 28 Y記

(当日の会場は超満員でした)

新成人を祝いながら

成人式を迎えた若者達を祝いながら式の会場、流山市民文化会館の入口で九条の会の訴えをしました。今回はチラシをカラー刷りにして工夫を凝らし、受け取りもまずまずでしたが、渡しながら「今安倍内閣の下で憲法が危ないのよ。」と話をすると、「えっ、安倍さんが総理大臣なの？やばいじゃん。」などという若者も??

どうすれば彼らの未来を守れるのでしょうか。

定例駅宣伝

2月は9日(日)おたかの森駅です
15:30~16:30



カンパはこちらの郵便振替口座へ

00130 - 5 - 464735 口座名 九条の会流山